



江府町報

第187号

発行者
鳥取県江府町
電話江尾代5-2211
編集 総務課
印刷 (有)富士印刷

江府町の人口



(12月31日現在)

世帯数	1,275 世帯
人口	4,916 人
(前月比)	8人減
(男)	2,369
(女)	2,547
出生	4
(男)	3
(女)	1
転入	14
(男)	6
(女)	8
転出	28
(男)	15
(女)	13
死亡	7
(男)	2
(女)	5

人間町宝福寿賞 川上かねさん百歳

川上かねさん(御机 川上壽延さん 母)が、本町ではじめて算齡百歳の長寿をむかえられました。ご本人は最近、耳も遠くなり記憶も薄れがちですが、病気もされずにとても元気。外出はほとんどされなくなったものの、時々テレビも見られ家族との団らんのひとつときもまた、家族のご孝養に幸せな毎日をご過ごされています。

一月十五日、恒例の江府町高齢者顕彰式において、人間町宝福寿賞が贈られ、十二名のお年よりとともに祝福を受けられました。

早寝早起きが健康の
ヒケツ…と川上かねさん

町長の行政報告



中国横断自動車道起工式でクワ入れる井上町長

五十八年度会計決算など 19議案を可決

十二月町議会定例会

十二月町議会定例会は、十二月十四日から二十日まで開かれ昭和五十八年度の各会計決算の認定をはじめ、補正予算など町長提出の十九議案が可決されました。

主な議決事項は、次のとおりです。

昭和五十八年度一般会計 決算の承認	差引総額
歳入 二億七、九九四万	九、〇五三万二、五
歳出 七、九五六万	一六万
歳出 二〇億八、九四一万	(各会計決算状況は、四・五ページに掲載)
五、四四〇万	

鳥取県西部広域行政管理組合の共同事務及び規約を変更する協議

昭和三十三年より鳥取県西部地区町村視聴覚教育協議会を設置して視聴覚教育を推進してまいりましたが、この度米子、境港両市を加え、より充実発展させるため規約を変更するものです。

昭和五十九年度一般会計補正予算(第四号)

既定の予算額に、五、八〇五万三千円を減額補正し、総予算額を二億二、九四一万四千円としました。補正の主な内容は、電源交付金事業、道路新設改良事業費の減額によるもので、この

財源として、国庫支出金、県支出金、町債などを減額するものです。

職員の給与に関する条例の一部改正

昭和五十九年八月十日の人事院勧告に基づく国家公務員

過疎地域振興計画

後期五ヶ年計画を策定

昭和五十五年四月一日から過疎地域振興特別措置法が十年間の時限立法として公布施行され、昭和五十五年度から昭和五十九年度までの計画を策定し、年々諸施策を実施してきました。この前期計画をふまえ、昭和六十年から昭和六十四年度までの計画を策定し、十二月町議会でも承認を得、引き続き基盤整備、生活環境整備、産業の振興など、より豊かで住みよい町づくりをめざして多くの事業が進められることになりました。

総務

日本人事試験研究センター
出題により、十二月一日、町職員(土木専門職)採用試験を西部町村会に依頼して行いました。受験者は四名でした。
一九八五年二月一日一せいに実施される農業センサスの

の一般職の職員給与に関する法律の一部改正に伴い、職員の給与の改正を行うもので、この財源として、一般会計補正予算(第五号)で、組替措置をするものです。

準備段階として、十一月三十日、日輪閣において四十二調査区調査員にそれぞれ個別指導を行いました。

秋の火災予防運動行事として十一月二十七日、十二月二日の二日間、部落防火水路及び消火栓、防火水槽を点検、機関操作訓練、消火訓練を行

ない、緊急時の消火体制に備えませんでした。

バス路線維持対策費負担金が昨年は、一、三七三万八千

昭和59年度バス路線維持対策負担金

起 点 ~ 終 点	町補助金
米子~江尾~門谷	(2種路線) 円
米子~江尾~真住	() 止
米子~江尾	() 止
米子~江尾 <small>根島 雨原</small>	() 166,450
米子~江尾 <small>根島 雨原</small>	() 止
江尾~吉原	() 1,554,048
江尾~下蚊屋	() 止
江尾~御机~大平原	() 791,416
江尾~御机~鏡成	() 系統整理
江尾~大平原~鏡成	() 止
江尾~中大河原	(3種路線) 548,981
江尾~尾上原	(2種路線) 止
合 計	3,060,895

円でしたが、本年は、路線の合理化等により三〇六万一千円となりました。各路線の補助金の内訳は、次のとおりです。

民生

欠員中の御机地区担当の民生児童委員として、岡本知嘉夫さんに厚生大臣から委嘱状が交付され、十二月一日江府町役場で伝達を行いました。今後、地域社会の福祉活動へのご活躍を大いに期待するものです。

十一月二十四日、日野町江府町日南町衛生施設組合議会定例会が日野町で開かれ、昭

和五十八年度歳入歳出決算の認定とし尿処理条例の一部改正(し尿汲取料の改正)の二議案が可決されました。

産 業

十一月十日、十一日の二日間、第二十三回鳥取県農林水産祭が県庁を会場に行われ、式典、農産物・特産物の販売、展示など盛大に催されました。

また、会場で行われた表彰式では、御機の岡本知嘉夫さんが優秀生産農林業者として知事表彰を受けられました。

十一月二十一日、鳥取市民会館で開催された鳥取県農業会議設立三十周年記念式で、久連の生田梅芳さんが全国農業会議所会長表彰を受けられました。生田さんは、永年農業委員として農政の指導に努めてこられました。その間には県農業会議副会長としても活躍され、その功績により受賞されたものです。

十一月十四日、十一月期子牛せり市が行われ

一頭平均価格
メス 二万八千円
去勢牛 一万九千五百円

で、前回に比べ七・九%の高値となっております。

十二月七日、八日、都市と農村の交流促進事業の交流都市神戸市を、井上町長、森谷助役、藤原産業課長が訪問し

全国農林業体験協会田原常務とともに、東灘区役所区長ほか九名と会見しました。

東灘区魚崎町は、戦時に東祥寺(江尾)、万福寺(武庫

寺)、源泉寺(俣野)に疎開の小学四・五年生が現在五十歳、五十一歳で実社会において活躍しておられ、今後、この学童

疎開者を中心とした東灘区魚崎住民と本町との交流をはかることを約しました。

建 設

冬期間の交通確保のため、除雪車を購入し、除雪体制の強化を図りました。

購 入 年 月 日 十一月二十一日
機 種 三菱オイルダー
910型
業 者 キヤタピラ三菱
(株)山陰支店
金 額 九三六万円

山陰、山陽を結ぶ中国横断自動車道米子、岡山線の起工式が十一月三十日、岸本町で行われ、井上町長が出席、県知事、関係市町村長らとクワ入れて工事の安全を祈願しました。

十一月二十二日、建設関係事業の入札を実施しました。入札の結果は、次のとおりです。

・工事名 町道江尾本町停車場線道路改良工事
業者名 江府測量事務所
金 額 五二万円

・工事名 一級町道俣野宮市線道路改良工事(一工区)
業者名 (株)本組
金 額 二、三四〇万円

・工事名 一級町道俣野宮市線道路改良工事(二工区)
業者名 (有)浜本組
金 額 二、八五〇万円

・工事名 一級町道俣野宮市線道路改良工事(三工区)
業者名 (有)川端組
金 額 二、六五〇万円

国 体

第四〇回国民体育大会の大会旗、炬火リレーコースが決定しました。

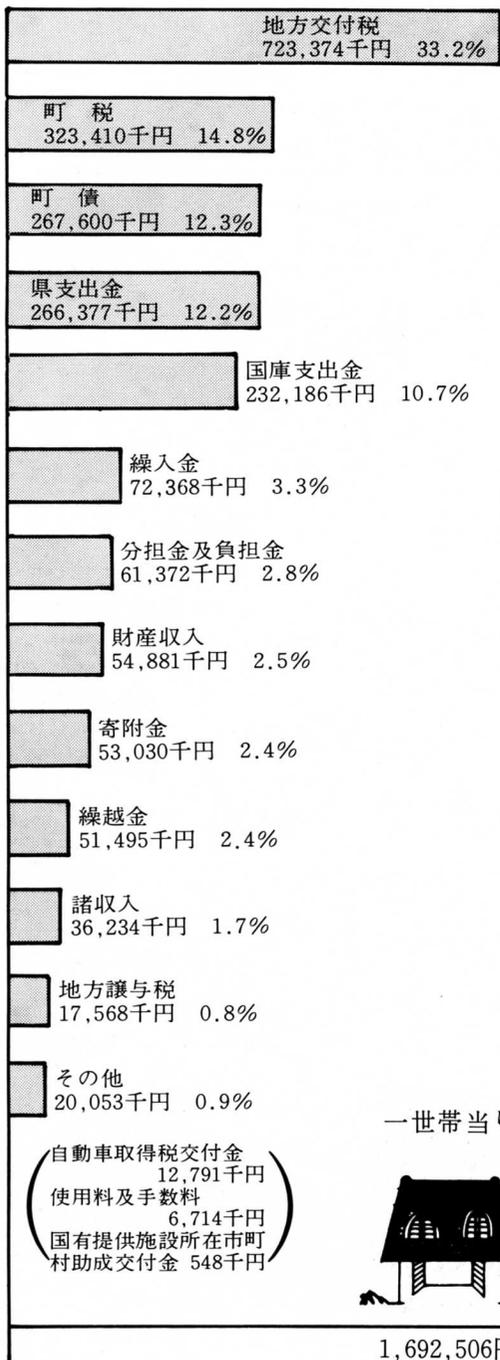
江府町では、町内の小学校高学年及び中学生から選ばれた一チーム十三人、延べ六十五人の児童、生徒によって町内各地をリレーされます。

(日程、コースについては、九ページの国体山岳競技日程をご覧ください)

に 会 計 決 算

8,941万5千円

歳
入
二
億
七
、
九
九
四
万
八
千
円



十二月十四日から開かれた十二月定例町議会で昭和五十八年度一般会計と特別会計の決算が認定されました。
みなさんが納められた税金がどのように使われたか図表であらましをお知らせします。
みなさんの家計に密接なつながりをもつ町の台所です。町の財政がどのようになっているかみてみましょう。

特別会計

国民健康保険	歳入 209,350千円 歳出 205,052千円
簡易水道事業	歳入 50,203千円 歳出 48,981千円
米沢財産区	歳入 2,696千円 歳出 1,663千円
神奈川財産区	歳入 133千円 歳出 59千円
江尾財産区	歳入 545千円 歳出 521千円
住宅新築資金等貸付事業	歳入 15,628千円 歳出 15,627千円
老人居室整備資金貸付事業	歳入 11,274千円 歳出 11,173千円
障害者住宅整備資金貸付事業	歳入 4,625千円 歳出 3,110千円
老人保健	歳入 227,403千円 歳出 226,973千円



環境整備を重点

昭和58年度一般

20億

写真でみる
58年度の主な事業



町道俣野宮市線 (池ノ内地内)



柿原地区簡易水道



米原分校新築

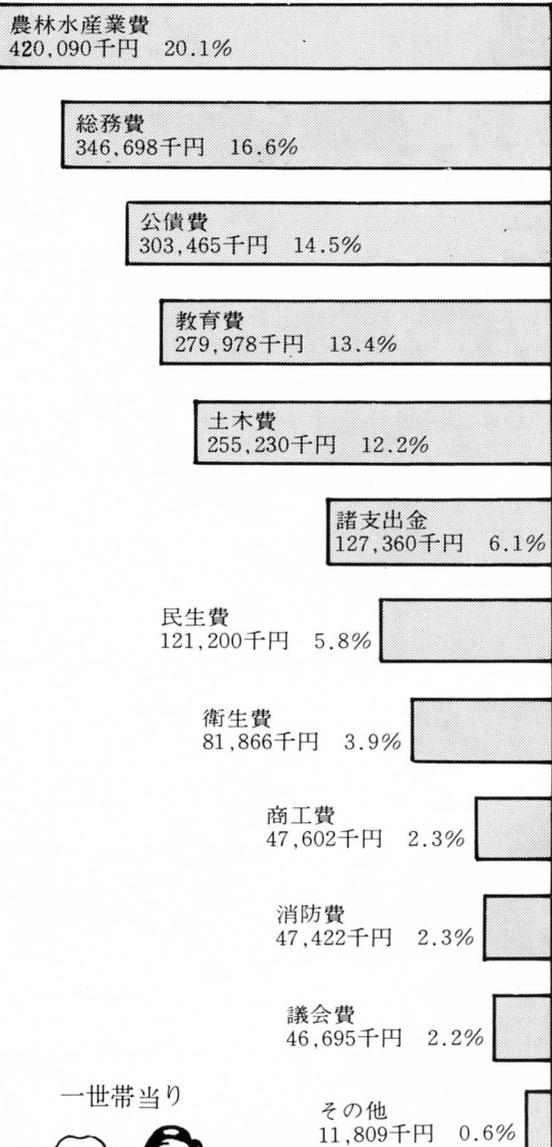


運動公園テニスコート照明

町民1人当り



419,561円



一世帯当り



(災害復旧費 9,514千円)
(労働費 2,295千円)

1,622,217円

高齢者顕彰式

13 名を顕彰



成人者も列席して高齢者顕彰式

一月十五日、土井之内会館で成人式と、併せて恒例の高齢者顕彰式が行われました。

今年、はじめて百歳の長寿を迎えられた川上かねさんが人間町宝福寿賞、九十九歳の長尾いそさんが人間町宝白寿賞を受賞され、新たに四人の顕彰者を加えた受賞者十三人にそれぞれ記念品を、また、家族の方々へ感状と高齢者介護年手当金が贈られました。

式典では、新成人の見守る中、井上町長が「物質文明の急速な発展により、ともすれば社会形成の基本であるべき、温かい人の心」が忘れ去られようとする現在、私たちは、人間尊重を基本理念にお互いがそれぞれの世代を理解しあうことがもつとも大切……と述べて家族のご孝養をたたえ、高齢者の長寿と健康を祝しました。

受彰者は、次の方々です。
(敬称略)

- 人間町宝・福寿賞受彰者
川上かね (100歳) 御机
- 川上壽延 母
- 人間町宝・白寿賞受彰者
長尾いそ (99歳)
- 宇田川まさよ 母 一旦
- 高齢者顕彰受彰者
河本たみよ (92歳) 池ノ内
- 河本昊道 母
- 渡辺豊治 (92歳) 本町四丁目
- 清水勝子 夫
- 土井垣秋子 (92歳) 宮ノ前
- 土井垣一郎 母
- 三輪永治 (92歳) 父 下安井
- 三輪 操
- 高齢者名誉賞受賞者(前年ま)

親子で登載

長寿番付表

町内の八十歳以上のお年寄りを紹介して好評の長寿番付も昭和三十七年の発刊当時に比べ年々増加し、登載者も二百四十三名と二倍を超える人員となりました。

今年、この番付表にはじめて一旦の長尾いそさん(99歳)と宇田川まさよさん(80

での顕彰受賞者)
徳岡たか (98歳)

- 徳岡静子 母 本町四丁目
- 長岡かめよ (97歳)
- 長岡康弘 祖母 宮市
- 小峰かめの (96歳)
- 小峰 繁 母 洲河崎
- 野田とみよ (95歳)
- 野田正博 母 大河原
- 六浦しげよ (94歳)
- 六浦盛雄 母 貝田
- 加藤暉子 (93歳)
- 加藤清俊 養母 杉谷
- 篠田佐一 (93歳)
- 篠田玄正 父 小江尾



徳岡たかさん親子



長尾いそさん親子

町長日記誌

*12 月

- 1日(土) 町職員採用試験(西部町村会局長ほか来庁)、民生委員岡本知嘉夫辞令交付、民生委員総務来庁
- 2日(日) 郡社研究大会、俣野小学校特別教室竣工式、奥大山スキークラブ総会、商工会及び山陰ビデオ来庁、高島屋来庁(国体関係)
- 3日(月) 民生委員会研修
- 4日(火) 農業共済組合理事会、中国電力岡村取締役来庁
- 5日(水) 広域農道竣工祝賀会、岡山大学光野教授来庁、県農林部長打合せ(米子)、森林組合専務来庁、尾上原農道改良関係面接、下蚊屋部落代表来庁
- 6日(木) 神戸市出張
- 7日(金) (都市と農村交流事業)打合せ出席
- 8日(土) 下安井集会所竣工式、米子出張
- 9日(日) 農業振興協議会会長会知事陳情(鳥取)
- 10日(月) 西部町村長会
- 11日(火)

歳)、徳岡たかさん(98歳)と徳岡静子さん(80歳)が親子で登載になりました。

一世紀を強くたくましく生きぬき、社会に家庭に貢献されてきたその人生にあらためて深く敬意を表するとともに、ますます健康で幸せな日々を重ねられますよう心からお祈りいたします。



荒田集会所でのデュワンさん(右)と吉田さん(中央)

消防使命の決意も新たな消防出初式

一月六日、上之段広場で、町消防出初式が、来賓をはじめ、西部広域消防署員、町消防団員ら一〇〇人が参加して行われました。

式後、本町通りで団員の分列行進、消防車のパレード、また、白住地内で一斉放水を行い、町民の生命財産を守る消防使命への意気込みを示しました。

出初式での表彰者は次のとおりです。(敬称略)
〔町長表彰〕

- 勤続章 川端孝志 大岩勝実
- 勤続章 篠田勇夫 森田哲也
- 〔知事表彰〕
- 勤続章 岡本昭一
- 〔日本消防協会長表彰〕
- 勤続章 芦立喜明 細田和三
- 〔県消防協会長表彰〕
- 勤続章 岡本昭一
- 勤続章 高山伊磋雄 山根博
- 司
- 〔西部消防協会長表彰〕
- 勤続章 河上英明 伊藤禎人
- 勤続章 河上英明 千藤 正
- 小沢籌正 清水孝司

ネパールの看護婦さん 江府町を訪問

十二月十三日、荒田集会所で開かれた成人病保健指導にネパールの看護婦インドウ・デュワンさん(二十二歳)が参加しました。

デュワンさんは、十一月に来日、米子の森田産婦人科で助産の勉強のかたわら地域の公衆衛生の見学に各地を訪問

しているもので、荒田では、高血圧者の日常と生活の中から食事について学び、最後に部落の人と一緒に試食を行いました。デュワンさんは、この二月には、ネパールに医療奉仕に向う吉田一子さんとともに帰国の予定です。



井上町長閣下

人事異動

() は旧任
○十月一日付
新採用
運動公園係 竹内幸夫
子供の国保育園 生田美香
○十一月二十日付
建設課長(建設課長心得) 河上英明

28日(金)	27日(木)	26日(水)	25日(火)	24日(月)	23日(日)	22日(土)	21日(金)	20日(木)	19日(水)	18日(火)	17日(月)	16日(日)	15日(土)	14日(金)	13日(木)	12日(水)	
仕事納め	在勤	A会長会議	各小学校、中学校PT	農林水産省外	東京出張	会葬	森林組合打合せ、町内	(大山山ろく所長来庁、)	下蚊屋農用ダム打合せ	町職員互助会	奥大山スキー場開き	下蚊屋農用ダム打合せ	来庁、米子出張	町議会定例会(委員会)	町議会定例会(委員会)	町議会定例会(委員会)	町議会定例会(委員会)



明日へ向かってはばたこう

わかとり国体準備すすむ

婦人団体連絡協議会

待望の、わかとり国体山岳競技会まであと二六一日となりました。
町内でも着々と選手歓迎の準備がすすんでいます。

選手の胸に

町の花「あやめ」

一月十一日、日輪閣において婦人団体連絡協議会の役員会が開催されました。

婦人団体の、国体に向けての今後の取り組みが話し合われ、その席上において、来町される各県の選手・役員全員に花のブローチを送ることが決定されました。

このブローチは、江府町の町花である「アヤメ」をあしらったもので、婦人団体の皆さんの手によって約一千個が用意されます。

あたたかい

みそ汁で接待

山岳競技会では、江府町に



奈良国体でのみそ汁接待



選手歓迎について熱心に検討

全国から約七百人のお客様が来られます。

婦人団体では、これら選手の皆さんのために町民グラウンドでの開会式、鏡ヶ成競技会場、大平原の踏査競技会場において、あたたかいみそ汁の接待を行います。

二月中旬にはみそ汁の献立研究会が開かれ、当町の特産を生かしたメニューが決められます。

町内の皆さんも、献立についての提案がありましたら婦人団体連絡協議会（会長門田久子）、又は、町国体対策室の方へお知らせください。

国体山岳競技日程

60年わかとり国体秋期大会

昭和60年10月20日～25日

山岳競技会場地

江府町、関金町、赤碓町、大山町の4町連合

市中行進・開始式

昭和60年10月20日 9時40分～12時

江府町運動公園グラウンド

選手・役員・係員等約700名

選手役員の宿泊（町内10施設）

会期中 延 約760名

山岳競技リハーサル大会

昭和60年6月7日～9日

大会旗・炬火リレー

江府町 5区間 延 65人

リハーサル 8月5日～10日

本 番 10月15日～16日

走 者 小学校高学年以上の健康な者

コ ー ス 米沢小～宮市原～宮市～役場

～本4～本1～一旦～明倫小

各部落に「国体記念湯のみ」配布

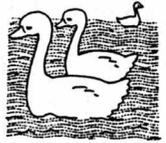
町では、わかとり国体の開催を記念して、「国体記念湯のみ」をつくり、町内の部落へ配布いたしました。

各部落でご相談の上有効に活用していただき、来たるべき国体への参加意識を高揚していただきたいと思っております。



人の動き

(12月届)



お誕生おめでとう

美用 川上恵子 拓也 二女
 荒田 小瀧宏昭 忠之 長男
 久連 岡本峰夫 隆雄 長男
 本一 平川 典 陽之 長男

ご結婚を祝します

下尾 一男 美用
 森山千恵子 大阪市城東区から
 浦部 実 洲河崎
 北水より子 西伯郡大山町から
 小倉 昭人 御机
 矢野 聡子 江尾から
 佐々木賢二 米子市
 田口 葉子 江尾から
 遠藤 光明 西伯郡岸本町
 北村 登子 助澤から

ごめい福を祈ります

宮市原 加藤 友吉 73歳 靖弘宅
 本二 川上 富代 83歳 富代宅
 本一 森永くまよ 82歳 勉宅
 池ノ内 藤原 熙美 89歳 壽彦宅
 池ノ内 藤原 菊代 85歳 嘉久宅
 吉原 大田よしの 87歳 春代宅
 尾上原 山本さきよ 81歳 晴男宅

ありがとう
 ごぞいました

12月中寄託分

香典返しとして

宮市原 加藤靖弘殿
 (養父友吉様ご逝去)
 佐川 梶原信明殿
 (母ミナ様ご逝去)

総社市 川上房枝殿
 (母富代様ご逝去)

池ノ内 藤原壽彦殿
 (父熙美様ご逝去)

池ノ内 藤原嘉久殿
 (母菊代様ご逝去)

内祝として

貝田 谷田喜代治殿
 (ご本人様退院)
 美用 景山 茂殿
 (ご本人様退院)
 本二 手島陽子殿
 (ご本人様退院)
 大河原 神庭徳熙殿
 (ご本人様退院)
 佐川 野中薫子殿
 (ご本人様退院)
 御机 加藤 厚殿
 (ご本人様退院)

助 沢 上前 肇殿
 (ご本人様退院)
 本 一 白石ひさよ殿
 (ご本人様退院)
 新 道 大田明弘殿
 (ご本人様退院)
 柿 原 奥田和男殿
 (ご本人様退院)

特別寄付

米子市 菊田研二殿
 (銭別のお礼)

以上、社会福祉事業にご寄付
 いただきました。厚くお礼申し
 上げます。
 江府町社会福祉協議会

善意銀行受払報告

1、十一月末累計額
 二百八十二万三千三百六十四円
 2、十二月中寄付額
 二十三万円
 内 訳
 香典返し 十万円
 快気祝 十二万円
 特別寄付 一万円
 3、十二月末累計額
 三百五万三千三百六十四円



**保健婦からひとこと

ためしてみてください、民間療法

カゼをひいたときに、多くの家庭で民間療法が用いられています。これらは科学的な根拠は明確でなくとも、かなりの効果を生んでいるようです。しかしいずれもが、いわば暖かくしてよく休めるようなものですから、カゼのひきはじめに安静を守って用いないと効果はありません。

・しょうがくず湯

①くず粉が片栗粉大きじ1杯を大ぶりのカップに入れ少量の水で溶き、熱湯を注いでよくかきまぜる。これに1かけのしょうがをおろし絞り汁

とハチミツをよくまぜて熱いうちに飲む。②しょうがをすりおろしたのに、熱湯を注いでハチミツを加えてもよい。

・ねぎとにんにく湯

①ねぎをみじんにきざみ大きじ1杯をおわんに入れ、にんにく小1かけをすりおろして加え、みそで味をつけ熱湯を注いで飲む。②にんにくの嫌いな人はしょうがを使ってもよい。

・ごぼう汁

ごぼうをすりおろし、ほぼ同量のみそを加えて熱湯を注いで飲む。

・たまご酒・しょうが酒

①日本酒180mlに卵1個をといて加え、弱火にかけ、ふつとうしたらカップに移し熱いうちに飲む。好みによ

て砂糖を少し加えてもよい。②しょうがをすりおろして、熱かんの日本酒に入れて飲む。

・梅干の黒焼き湯

梅干2個をフライパンかもち網で黒くこげるまで焼き、茶わんに入れ熱湯を注いでよくはしでまぜ、熱いうちに飲む。しょうがのおろし汁を加えらとなおよい。

・大根あめ

新鮮な大根を1cmの角切りにして、びんに入れ、ふたをして1日おく。大根のエキスが溶け出し大根が浮いてきたらとり出す。残った液を1日2~3回さかずきに1杯程度飲む。お湯で薄めて飲んでもよい。せきやのどの痛みに効果がある。